

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
専修学校 麻生ビューティーカレッジ	平成14年4月1日	林 宏治	〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2丁目9-23 (電話) 092-735-3800				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 麻生塾	昭和26年3月12日	麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999				
目的	本校は、美容技術に必要な知識技能を修得せしめ、社会に有為有能なる実践的人材を養成することを目的とする。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
衛生	衛生専門	美容科		平成16年2月17日 新規告示30号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2100	600	90	1860		
生徒総定員		生徒実員	専任教員数		兼任教員数		総教員数
360人		150人	9人		21人		30人
学期制度	■1学期:4月1日～8月31日 ■2学期:9月1日～12月31日 ■3学期:1月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。		
長期休み	■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月19日～1月4日 ■春季:3月6日～4月3日			卒業・進級条件	学則で定める当該年度における必要な時間数を履修していること。各学期試験の通年評価がC評価(60点)以上であること。教科の区分ごとにその教科課目の3分の2以上(実習を伴う教科課目は5分の4以上)出席していること。		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 補講の実施、休学、留年			課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動: 無		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 美容サロン、美容業界 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 97.7% ■その他 (平成28年度卒業者に関する平成29年4月1日時点の情報)			主な資格・検定等	・美容師国家資格 ・TONI&GUYベーシックカット検定 ・TONI&GUY フューチャーファンデーションカット検定 ・shu uemuraスクールズ修了証 ・日本ネイリスト検定試験センター ネイリスト技能検定 ・日本ネイリスト協会ジェルネイル技能検定 ・日本ファッションスタイリスト協会 スタイリングマップ検定 ・ビューティーコーディネーター検定		
中途退学の現状	■中途退学者 12名 平成28年4月1日時点において 在学者 179名 平成29年3月31日時点において 在学者 167名 ■中途退学の主な理由 進路変更(就職・転学・その他)、病気・ケガ、経済的理由、その他			中退率	6.7% (平成28年4月1日入学者を含む) (平成29年3月31日卒業者を含む)		
ホームページ	http://www.asojuku.ac.jp/abc/						

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

厚生労働省の指針に合わせ、美容業界で即戦力として活躍できる美容師としての基礎をしっかり学び、二年間で美容師国家資格取得を目指していく。また、トータルビューティを推奨する美容サロンの動向に合わせ、基礎実習はもとより、正しい美容技術・ネイル・メイク・エステの施術ができる力をつけることを基本に、適宜編成委員会を開催し授業内容等について確認を行うとともに、企業等より実習の授業及び教員に対し専攻分野における実務に関する研修を組織的に行う。また、実務実習のもと企業(サロン)実習を行い、企業からの要望を伺い教育に生かしていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした教育課程編成委員会を置く。教育課程編成委員会の意見は、校長代行が主宰する各学科のカリキュラム会議において、カリキュラムの改善(授業科目の新設、変更や、授業方法の改善・工夫)などに行ける限り反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年5月1日

名前	所属	任期	種別
甲木 輝彦	ビューティービジョン協同組合	H29/4/1~H31/3/31	①
長島 滋	株式会社 サラ	H29/4/1~H31/3/31	③
林 宏治	麻生ビューティーカレッジ 校長	H29/4/1~H31/3/31	
渡辺 博明	麻生ビューティーカレッジ 校長代行	H29/4/1~H31/3/31	
金川 盛一	麻生ビューティーカレッジ 教務部主任	H29/4/1~H31/3/31	
江藤 登志美	麻生ビューティーカレッジ 教務部 副主任	H29/4/1~H31/3/31	
中西 徳孝	麻生ビューティーカレッジ 事務長補佐	H29/4/1~H31/3/31	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

第1回:前期 平成29年4月~平成29年8月に開催予定

第2回:後期 平成29年9月~平成30年3月に開催予定

(開催日時)

平成29年6月19日 13:30~15:30予定

第2回:後期 平成29年9月~平成30年3月に開催予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

美容業界において、社員育成において、「目的」を共有することが大切であるとの指摘があった。平成29年度の本校の重点項目の中に、「目的、意味」を意識して運営することを入れた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学校では体験できない接客業やサロンワークを実体験させることにより学生の社会性と共同性を涵養し、又、就職活動を控えた学生に職業意識を醸成させることを目的とする

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

TONI&GUY及びTAYAとの教育提携により、在学時から同企業の持つカットプログラムを授業に導入、また1年次に授業の一環として全学生が美容室において現場実習(インターンシップ)を実施している

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
美容実習 (総合実習)	総合実習として、1年次に60時間(8日間程度)美容室にて現場実習を行う。	(株)田谷、TONI&GY JAPAN、 (株)SARA、(株)ネオ・アーテント
カット	1年次に60時間、教育提携しているTONI&GUYのカットプログラムを導入し、検定試験を受験する。	TONI&GUY JAPAN

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。教職員に対し、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、受講者はその内容を他教員へ展開することで、全教員のより高度な職務を遂行するために必要な知識を付与することを目的とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

TONI&GUY教育提携校認定講師資格取得研修(8/1武田)、TONI&GUY教育提携校認定講師資格更新研修(8/15渡邊、西依)

② 指導力の修得・向上のための研修等

同上

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

TONI&GUY教育提携校認定講師資格更新研修

② 指導力の修得・向上のための研修等

同上

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正に行われているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりを行う。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	・建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育人財像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。
(2) 学校運営	・学校の管理・運営体制が確立して、規程通りに運営しているか。
(3) 教育活動	・各学科の教育目的、育人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか。 ・教授学習プロセスの改善及び教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。 ・業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか。 ・教員の資質維持や向上にむけた取り組みをしているか。
(4) 学修成果	・各学科の教育目的に向けた達成度及び成果を評価・公表している
(5) 学生支援	・学生支援が整備され組織的に行われているか ・卒業生等に対する卒業後の支援はおこなわれているか。
(6) 教育環境	・教育の実施体制を整備しているか。 ・教育環境を整備・活用しているか。
(7) 学生の受入れ募集	・学生募集を適正に行い、入学選考を公正かつ適切に実施している
(8) 財務	・学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行っているか。
(9) 法令等の遵守	・各学科の教育目標、育人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善の為のシステムが構築されているか。
(10) 社会貢献・地域貢献	・意図的・計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されている
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

教員の業務負担について、非常勤で対応するなど業務負荷の軽減やマンパワーの頼りすぎる危険性について指摘があった。それに基づき、平成29年度は適正な配分ができるよう、担当コマ数を組みなおした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年5月1日

名前	所属	任期	種別
高木 由紀	株式会社 ダリア	H29/4/1~H31/3/31	企業等
藤野 善友	SOEN	H29/4/1~H31/3/31	卒業生
友岡 貴昭	ビューティースペシャリスト科1年在校生保護	H29/4/1~H31/3/31	保護者
永末 里志	博多女子高等学校	H29/4/1~H31/3/31	高等学校関係者
山本 信彦	大名2丁目3区町内会	H29/4/1~H31/3/31	町内会長

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

公表方法: URL: <http://www.asojuku.ac.jp/disclosure/>

公表時期: 8月

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めて頂く事を目的とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要、校訓、沿革、所在地、連絡先、魅力、麻生塾の取組み
(2) 各学科等の教育	定員、カリキュラム、時間割、取得可能な資格、国家試験、内定実績
(3) 教職員	教員一覧
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職進学サポート
(5) 様々な教育活動・教育環境	年間行事
(6) 学生の生活支援	学生寮、国際交流センター
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項、日本学生支援機構奨学金制度、授業料減免制度
(8) 学校の財務	財務情報
(9) 学校評価	自己点検・評価報告書、学校関係者評価委員会報告書
(10) 国際連携の状況	海外教育機関との連携
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: 学校法人麻生塾HP <http://www.asojuku.ac.jp/>

専修学校麻生ビューティーカレッジHP <http://www.asojuku.ac.jp/abc/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容学科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	1 衛生行政 (1) 衛生行政の意義 2 美容師法 (1) 法の目的 (2) 美容師に対する法的規制 (3) 美容所に対する法的規制	2年・通年	30		○			○			○	
○			衛生管理	1 公衆衛生概説 (1) 公衆衛生の意義 (2) 公衆衛生と美容業 (3) 保健所の業務 2 感染症 (1) 美容所における感染症対策 3 環境衛生 (1) 環境衛生の意義と目的 (2) 美容所における環境衛生 4 衛生管理技術 (1) 美容所における衛生管理の意義と目的 (2) 消毒法の選択と実施方法 (3) 消毒法の実習	1年2年・通	90		○			○			○	
○			美容保健	1 人体の構造及び機能 (1) 人体の構造及び機能と疾病との関連 2 皮膚及び皮膚付属器官の構造及び機能 (1) 皮膚及び皮膚付属器官の構造 (2) 皮膚の生理的作用と美容との関係 (3) 毛髪および爪の生理的意義と特性 3 皮膚及び皮膚付属器官の保健衛生 (1) 皮膚及び皮膚付属器官の保健衛生と美容施術上の注意 4 皮膚及び皮膚付属器官の疾病 (1) 皮膚及び皮膚付属器官の疾病との関係 (2) 化粧品によるかぶれと美容施術上の注意	1年2年・通	120		○			○			○	
○			美容の物理・化学	1 美容の物理 (1) 美容業で使用される機械器具の構造、原理、機能及び操作方法に係る物理の基本事項 (2) 美容業で使用される機械器具の使用上の注意及び保守	1年2年・通	90		○			○			○	
○			美容文化論	1 美容文化史 (1) 美容ファッションの変遷 (2) 美容業における流行の意義と役割 2 美容デザイン (1) 造形及び色彩の原理 (2) 美容における造形及び色彩の意義と応用 3 服飾 (1) 美容における服飾の意義 (2) 衣服に関するエチケット	1年2年・通	90		○			○			○	
○			美容技術理論	1 器具の取扱い (1) 美容器具の種類、各部の名称及び使用目的 (2) 美容器具の選定法、研磨法、基本的操作法及び手入れ法 (3) ヘアドライヤー、ヘアスチーマー及びブラシの使用目的と手入れ法 (4) 被布及び布片類の使用目的 (5) 美容器具の消毒法 2 基礎技術 (1) 美容技術の意義と基礎知識 3 頭部技術 (1) 頭部技術の基礎知識 4 特殊技術 (1) 特殊技術の基礎知識 5 和装技術 (1) 和装技術の基礎知識	1年2年・通	120		○			○			○	
○			美容運営管理	1 経営管理 (1) 美容業における経理事務 2 労務管理 (1) 美容業における労務管理 3 接客法 (1) 社会生活におけるエチケット (2) 美容業における接客の意義と技術 (3) 美容業における消費者対応	1年・通	60		○			○			○	

